

## 「共同利用・共同研究拠点シンポジウム 2013」を開催

2013年11月19日

11月19日(火)、金沢エクセルホテル東急において、「共同利用・共同研究拠点シンポジウム 2013」を開催しました。

今回のシンポジウムは、がん進展制御研究所と北海道大学遺伝子病制御研究所との第2回目のジョイントシンポジウムを兼ねており、文部科学省認定の共同利用・共同研究拠点として、両研究所における最新の研究成果が報告されました。

シンポジウムでは、本研究所の大島浩子助教、後藤典子教授、北海道大学の藤田恭之教授、野口昌幸教授による研究成果の発表に加え、招待講演として大阪大学大学院医学系研究科の菊池章教授、九州大学生体防御研究所の中山敬一教授にご講演頂きました。さらに、特別講演として、東京大学医科学研究所の宮野悟教授に、「がんの個別化ゲノム医療とスーパーコンピュータ」と題して、ヒトゲノム解析の現況や将来の展望など、大変興味ある題材について解りやすくご講演頂きました。

シンポジウムには、学内外の研究者や大学院生等100余名が参加し、がん研究に関する最新の研究成果等について、活発な質疑応答や意見交換が行われ、両研究所にとって大変有意義なシンポジウムとなりました。



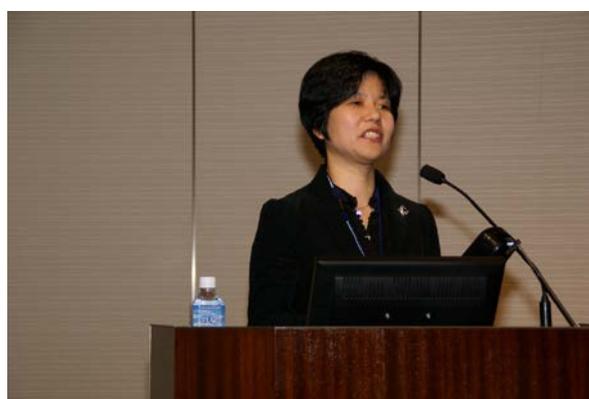
シンポジウム会場玄関



開会挨拶：がん進展制御研究所  
大島 正伸 所長



開会挨拶：北海道大学遺伝子病制御研究所  
高岡 晃教 所長



金沢大学がん進展制御研究所  
大島 浩子 助教



北海道大学遺伝子病制御研究所  
藤田 恭之 教授



招待講演 1 : 大阪大学大学院医学系研究科  
菊池 章 教授



金沢大学がん進展制御研究所  
後藤 典子 教授



北海道大学遺伝子病制御研究所  
野口 昌幸 教授



招待講演 2 : 九州大学生体防御医学研究所  
中山 敬一 教授



特別講演 : 東京大学医科学研究所  
宮野 悟 教授



閉会挨拶：山崎 光悦 金沢大学理事（研究・国際担当）



理事、両研究所長、シンポジウム講演者との記念撮影

# 金沢大学がん進展制御研究所 共同利用・共同研究拠点 シンポジウム2013

日時 平成25年 11月19日(火) [受付12:30~] 13:10開始

場所 金沢エクセルホテル東急(金沢市香林坊2-1-1)

## 13:10-13:20 開会挨拶

金沢大学がん進展制御研究所 所長 大島 正伸  
北海道大学遺伝子病制御研究所 所長 高岡 晃教

## 13:20-14:55 セッション I

『TGF- $\beta$ シグナル抑制と炎症反応による  
大腸がん悪性化の誘導』

金沢大学がん進展制御研究所 大島 浩子

『正常上皮細胞と変異細胞の相互作用』

北海道大学遺伝子病制御研究所 藤田 恭之

[招待講演1]

『上皮管腔組織形成とその異常によるがん』

大阪大学大学院・医学系研究科 菊池 章

## 15:15-16:55 セッション II

『増殖因子による乳がん幹細胞と  
肺がんシグナル制御から個別化医療へ』

金沢大学がん進展制御研究所 後藤 典子

『Akt結合因子による多彩な細胞反応性の修飾の  
分子機構』

北海道大学遺伝子病制御研究所 野口 昌幸

[招待講演2]

『次世代プロテオミクスが拓く  
生命科学の新地平:90年来のがんの謎に挑む』

九州大学生体防御医学研究所 中山 敬一

## 17:15-18:05 特別講演

『がんの個別化ゲノム医療とスーパーコンピュータ』

東京大学医科学研究所・ヒトゲノム解析センター 宮野 悟

## 18:05-18:15 閉会挨拶

金沢大学理事 山崎 光悦

※シンポジウム終了後、懇親会を開催いたします。是非ご参加ください。